

潮風

第25号

令和4年度上期

放生津地域振興会

発行責任者 宮島 伊佐夫

越の海

地域の皆様には、平素から当協会事業にご理解とご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。防犯協会放生津支部員、見守り隊の方々による「自分たちの町は、自分たちで守る!」活動(自主防犯活動)を実施しております。

「安全・安心な街づくり 放生津」を目指しております。今後とも警察・関係諸団体・ボランティアの方々との連携を密にして犯罪のない明るい社会を作るために邁進してまいります。



防犯協会 放生津支部
支部長 塩谷 靖

放生津校区内での
活動内容

- ① 青色回転灯装備車(青パト)でのパトロール実施
- ② 年金支給日には、詐欺(いろいろな)防止活動、のぼり旗の設置
- ③ 児童登下校時の見守り活動の実施
- ④ 自転車の鍵かけなどの啓発活動の実施
- ⑤ 中学生へのネット上の被害及びSNSでの犯罪などの啓発活動の実施



油断禁物

安全安心部会 隊長 富田 光男
神保寺自治会長

今年の夏は異常気象により、6月の記録的猛暑と、2週間で明けた最短梅雨、7月は暑い日が続く中一転して梅雨空へ逆戻り、そして8月は東北、北陸を中心に線状降水帯が相次いで発生して、河川の氾濫、土砂災害により各地に甚大な被害が発生しました。

県内でも豪雨による避難所が各地で開設され、特に富山市の中心地で1時間に90ミリを超えるゲリラ豪雨が発生して、約100棟の家屋が浸水、避難所となる学校も多数浸水被害を受けました。

さて、皆さんはこれからの台風シーズン、「富山は、立山が守ってくれる!」という根拠のない安全神話を信じていませんか? 非常食など災害時の備えは大丈夫ですか?

9月1日は「防災の日」、そして今年の射水市防災訓練は、10月23日(日)午前です。

富山市を震源地とする、震度7の地震を想定して池多地区で行われます。

放生津校下連合自治会では、同日の訓練に合わせ自主防災活動として「黄色いハンカチ作戦」を行います。今回の訓練では、放生津地区を4つのブロックに分け、各自治会が被害情報の共有と、救護活動を連携して行うことを目標としています。

この機会に、一人一人ができる「命を守る行動」を確認してください。皆様のご協力をお願いいたします。

命を守る行動(シェイクアウト)を!



①まず低く

強い揺れで倒れることのないよう、体勢を低くしましょう。



②頭を守り

机やテーブルの下に入り、頭を守りましょう。



③動かない

揺れが止むまで動かずじっとしましょう。

令和4年度 放生津地域振興会役員

役職	氏名	所属団体名・役職	備考
会長	宮島伊佐夫	東町東部自治会長	
副会長	二口 憲夫	放生津校区社会福祉協議会会長	
//	宮崎 哲郎	中町自治会長	
理事	中川 義博	越の潟町自治会長	新任
//	野村 右二	山王町自治会長	
//	片境 忠勝	放生津花と緑の銀行頭取	新任
//	四日 恵子	放生津地区白鳩ボランティア代表	
//	生地 祐子	射水市食生活改善推進協議会会長	
監事	石井 秋吉	獅子絵田自治会長	新任
//	伊藤 誠勝	放生津地区体育協会会長	
事務局長	吉野富士子	放生津コミュニティセンター職員	新任
相談役	八嶋 浩久	富山県議会議員	

※令和4年4月21日(木)総会にて承認されました。



特集 小学校の在り方を考える

PTA主催の第1回「小学校統合に関する意見交換会」を7月8日(金)午後7時から放生津コミュニティセンターにて開催しました。放生津小学校PTA16名、在り方検討協議会5名、射水市教育委員会3名が参加し、意見交換会を実施しました。

【児童数が減少していく中で、新湊小学校との統合についてどのように考えていますか?】というテーマで2グループに分かれてテーブルディスカッションを行いました。

内容は、①メリット・デメリットについて ②統合に賛成ですか?反対ですか?その理由について

参加者の皆さんより貴重な意見(約97意見数)をいただきました。これらを取りまとめ、今後、第2回目の開催も視野に入れながら、学校の在り方委員会を中心にPTA内でさらに議論を重ねるとともに、地域の皆様や射水市教育委員会とも協議して参りたいと思います。



地域支え合いネットワーク事業について



● 4月21日(木)

ミニ講座

「べいぐるん説明会」



● 5月12日(木)

ミニ講座

「めでたを楽しもう」

● 6月9日(木)

ミニ講座

「手洗いの仕方について」



生涯学習事業



《ふるさと歴史講座》 7月23日(土)

放生津の歴史と地名

私たちの町は、日本最古の歌集『万葉集』にも登場し、鎌倉時代以降、放生津と呼ばれています。八幡宮を始めとする神社・寺院、歴史上の人物が行き交った古道、世代を超えて受け継ぐ曳山や獅子舞、宝物がいっぱいの放生津の歴史を、射水市新湊博物館 主査 学芸員 松山 充宏氏を講師としてお招きし講座を開催しました。

今回は、各町内名の由来のお話を中心に詳しく解り易く説明をしていただきました。史実に基づいた地名の歴史は、とても興味深く、今まで以上にこの放生津という地名は後世に伝えていくべき「宝」なのだ、再認識したひとときでした。

この後、10月には、放生津の歴史ゆかりの地の見学会も予定しており、みなさんとても楽しみにしておられます。



みんなの生涯学習・学級講座

青少年学級

● 4月21日(木)
「交通安全教室」



(共催/射水交通安全協会 放生津支部)

● 8月6日(土)
「ゲーム大会」



(共催/放生津地区 児童クラブ)



● 7月9日(土)
「バルーン教室」



(共催/放生津母親クラブ)

● 8月20日(土)
「かざぐるま作り
& マーブリング
うちわ作り」



高齢者学級

● 8月18日(木)
「薬の飲み方について」



生涯学習事業

● 6月25日(土)
「音楽を楽しもう!」



● 7月19日(火)
「料理教室」



(共催/放生津地区 食生活改善推進協議会)

女性学級

● 7月9日(土)
「水引きでブローチ作り」



● 8月8日(月)
折り紙教室
「おわら踊り」



放生津の 曳山御蔵

紺屋町



紺屋町 曳山格納庫

- ① 建設年月 平成21年(2009年)4月
- ② 建設協力金 1,000万円
- ③ 総世帯数 19世帯

我が町の山蔵は、他の山町に先駆けて町内各位の協力で、小ぶりではあるが、日吉神社境内に建設し、長年利用してきました。

平成に入り、立町地区の開発事業に伴い、旧北陸銀行跡地に川の駅と曳山展示場の建設の話があり、展示スペースの一方に町の曳山の常設展示をお願いし、協力金を納めることで認めてもらいました。協力金に関しては、町内ゆかりの人などから沢山のご寄付をいただき感謝しております。川の駅にご来場の折には、是非ご覧ください。



広報潮風では毎回放生津地区の「曳山御蔵」の紹介をしています。次回の曳山御蔵は、南立町です。

内川清掃

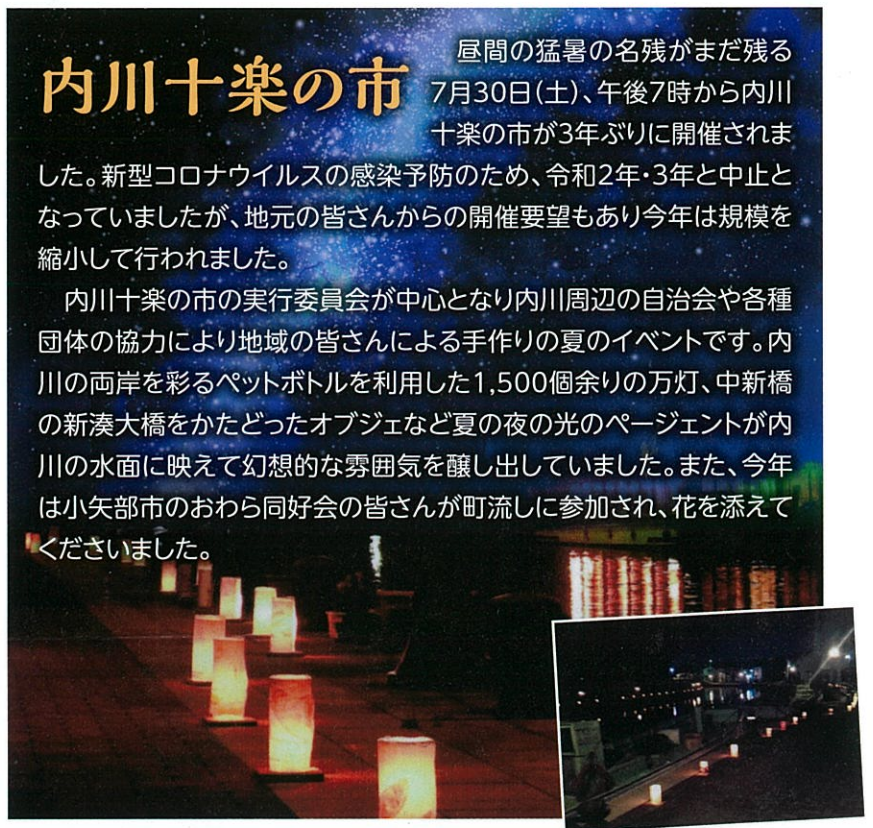
NPO法人水辺のまち新湊主催の内川清掃が、5月21日(土)午前10時から行われました。地域の各種ボランティア団体と内川周辺の自治会も参加し西新橋から神楽橋の両岸の清掃活動を行いました。最近では地域の皆さんの美化意識が向上したようでゴミは比較的少なく、川沿いの雑草等を主に除去し約1時間にわたって気持ちの良い汗を流しました。



内川十楽の市

昼間の猛暑の名残がまだ残る7月30日(土)、午後7時から内川十楽の市が3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルスの感染予防のため、令和2年・3年と中止となっていたが、地元の皆さんからの開催要望もあり今年は規模を縮小して行われました。

内川十楽の市の実行委員会が中心となり内川周辺の自治会や各種団体の協力により地域の皆さんによる手作りの夏のイベントです。内川の両岸を彩るペットボトルを利用した1,500個余りの万灯、中新橋の新湊大橋をかたどったオブジェなど夏の夜の光のページェントが内川の水面に映えて幻想的な雰囲気醸し出していました。また、今年は小矢部市のおわら同好会の皆さんが町流しに参加され、花を添えてくださいました。



編集後記

人生100年時代と言われている今、高齢者専門の精神科医 和田秀樹医師の著書「80歳の壁」(幻冬舎)が話題になっています。

和田医師は35年間、6,000人以上の患者さんの診療をしてきた経験から、今まで高齢者が健康で長生きするためにと気を付けていた事に対して、本当にそれが必要なんだろうか?と疑問を投げかけています。体に悪いからと、あれもダメ、これも我慢、塩分・糖分・脂分は控えめに、車の運転は危ないので、運転免許は返納しましょう...云々。多くの高齢者は、健康で長生きするためにと思って真面目に実行しています。そんな私たちにこの本はこれからどう生きるかのヒントを示しているように思います。私たちは65歳を過ぎると高齢者。75歳を過ぎると後期高齢者と呼ばれます。(85歳を超えると次は終期高齢者かな?)なんだか言葉の響きが侘しいですね。いかにもお役人の考えそうなネーミングです。和田医師はここまで頑張ってきたのだから、もっと明るくて希望の持てる呼び方にすべきと主張されています。80歳を超えた人は高齢者ではなく「幸齢者」とよぶべきだと。私たちも、幸せな晩年を過ごす幸齢者となるためもつと肩の力を抜いて80歳の壁を乗り越えていきましょう。

